

2013・6・11 開会
第2回町議会定例会



平成25年第2回町議会定例会が、6月11日に開会され、14日に閉会しました。

この町議会定例会では、白井町長の行政報告のあと、議案4件、承認1件、発議1件について審議しました。

おもな内容は、次のとおりです。

白井町長の
行政報告
=平成25年6月11日=

第二回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

行残によるものであります。

次に、後期高齢者医療特別会計は、四十五万五千円の繰り越しとなりました。

次に、国民健康保険特別会計は、三千八百八十六万一千円の赤字となりました。

赤字となった要因は、前年度からの赤字の繰り越しによるものであります。

平成二十四年度の赤字は、平成二十五年度の歳入を繰り上げて補てんすることとなるため、五月三十一日付けで、平成二十五年度補正予算を専決処分いたしました。

また、療養給付費等負担金等は、翌年度において精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

次に、介護保険特別会計は、四千七十四万九千円の繰り越しとなりました。繰り越しとなった主な要因は、介護保険給付費などの減によるものであります。

なお、介護保険給付費に係る交付金等は、平成二十五年度において精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

次に、公共下水道事業特別

会計は、経費の節減に努めるなか、各支出科目の不用額の発生等により四百十万六千円の繰り越しとなりました。

次に、ガス事業会計は、原料価格高騰の影響等による費用の増加と消費の低迷や需要家の減少による収益の減少により、依然として経営環境は厳しい状況にあります。

年間ガス販売量は、前年度対比一万一千立方メートル減の十九万三千立方メートルとなりましたが、ガス売上は、平成二十三年度料金改定の影響により五百六十二万六千円の増収となっております。

事業収支では、経費の節減等により一千五百三十九万五千円の当年度純利益となり、この当年度純利益を前年度繰越欠損金六千六百七十九万一千円から差し引きますと、当年度未処理欠損金は五千百三十九万六千円となります。

次に、病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は六・三三パーセントの増加となりましたが、入院収益では一千六十八万八千円の減収、外来患者数は六・一九パーセントの減少となり、外来収益では二百二十五万六千円の減収となっております。

収支は、一般会計から二億九千四百万円の補助金を得た結果、期末決算では一千四百三十二万二千円の当年度純利益となりました。

この当年度純利益を前年度繰越欠損金三億四千五十八万九千円から差し引きますと、未処理欠損金は三億二千六百二十六万七千円となります。

なお、詳細については決算上程の際に関係資料を提出いたします。

メートル）が認定されました。

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について

北空知圏学校給食組合が当該組合に加入することに伴う提案です。

◆一般会計補正予算（第三号）

平成二十五年度の歳入歳出それぞれ四千七百九十万四千円が追加され、予算総額三十

◆町道の認定について

道路法第八条第二項の規定により、南十二号線（延長九十

九億二千六百六十四万七千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が国庫補助金、財政調整基金繰入金の追加、歳出は、除雪機械導入、防災設備整備事業等の追加です。

◆請願審査特別委員長報告（不採択）

◎非核・平和宣言を求める請願

◆意見書案（可決）

◎「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の早期制定を求める意見書

各会計
決算見込み

一般会計は、七千三百九十五万円の繰り越しとなりました。

歳入は、予算に対し二千九百六十二万六千円の増で、一般財源となる町税が二千三百三十二万七千円の増となったことがおもな要因であります。

また、歳出の不用額は四千四百三十二万四千円で、各科目の物件費等の節減による執

まちづくり
基金

寄付を通じた参加型地方自治の実現を目的に設置した「長万部町まちづくり基金条例」による平成二十四年度の寄付状況は、指定寄付では「森林資源の維持、保全及び整備に関する事業」、「健康で長寿のまちづくりに関する事業」、「地域教育力の向上及び生涯学習の振興に関する事業」が各二件、「住民自治の醸成及びコミュニケーションの推進に関する事業」が一件、「事業指定なし」が二件の合計九件、五十五万円をいたしており、条例設置後の寄付金総額は六十五件の六百九万三千三百八十八円となっております。今後、広報紙やホームページ等で周知して参ります。

線測量が年内の完了を目指して実施されております。

また、今年度は、町民のみなさんと一体となった取り組みとして、「新幹線を核としたまちづくり」の気運を高め、駅周辺整備を含めたまちづくりへの創意工夫に立脚した、新たな方策等を探ることを目的とした「新幹線まちづくりワークショップ」を開催するとともに、駅前広場等に関する各種調査やデータ収集、将来推計なども行い、駅周辺整備計画策定へ向けた基礎資料作成を実施するため、本年五月十三日に「長万部町新幹線まちづくり検討調査委託業務」を、平成二十六年三月十九日完了予定で契約締結しております。

なお、「新幹線まちづくりワークショップ」への参加者は、町内居住の方を対象に、六月号の町広報と町ホームページにより公募しており、参加者が確定し準備が整い次第、説明会も含め四回にわたってワークショップを開催する予定となっております。

今後各種新幹線関連計画や関連事業の検討なども含め、関係機関と密接な協議を行い、

都市計画
事業関係

平成十五年度に都市計画法の規定により平成三十五年度までの期間で、まちづくりの骨格として定めた「長万部町都市計画マスタープラン」は、本年度が、中間年度となり見直しを行うことから、先ほど申し上げました「長万部町新幹線まちづくり検討調査委託業務」の中に、本計画の見直しも含め実施して参ります。

この計画は、長万部町の現状把握や課題整理、新幹線関連の駅周辺整備など「新幹線を核としたまちづくり」と密接に関連することから、新幹線関連事業である「新幹線まちづくりワークショップ」や駅前広場等に関する各種調査などと連動させながら、まちづくりの基本方針等の見直しをして参ります。

会計は、経費の節減に努めるなか、各支出科目の不用額の発生等により四百十万六千円の繰り越しとなりました。

次に、ガス事業会計は、原料価格高騰の影響等による費用の増加と消費の低迷や需要家の減少による収益の減少により、依然として経営環境は厳しい状況にあります。

年間ガス販売量は、前年度対比一万一千立方メートル減の十九万三千立方メートルとなりましたが、ガス売上は、平成二十三年度料金改定の影響により五百六十二万六千円の増収となっております。

事業収支では、経費の節減に努めましたが、熱量変更費用の償却により、多額の費用計上となったことから七千四百五十一万六千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金一億二千五百三十六万二千円に加えますと、当年度未処理欠損金は一億九千九百八十七万八千円となります。

次に、水道事業会計は、年間給水量が前年度対比二万四千立方メートル減の六十六万三千立方メートルとなりまし

たが、給水収益は料金改定により三百九十六万七千円の増収となりました。

事業収支では、経費の節減等により一千五百三十九万五千円の当年度純利益となり、この当年度純利益を前年度繰越欠損金六千六百七十九万一千円から差し引きますと、当年度未処理欠損金は五千百三十九万六千円となります。

次に、病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は六・三三パーセントの増加となりましたが、入院収益では一千六十八万八千円の減収、外来患者数は六・一九パーセントの減少となり、外来収益では二百二十五万六千円の減収となっております。

収支は、一般会計から二億九千四百万円の補助金を得た結果、期末決算では一千四百三十二万二千円の当年度純利益となりました。

この当年度純利益を前年度繰越欠損金三億四千五十八万九千円から差し引きますと、未処理欠損金は三億二千六百二十六万七千円となります。

なお、詳細については決算上程の際に関係資料を提出いたします。

北海道
新幹線関係

北海道新幹線新函館（仮称）・札幌間の建設工事は、現在、鉄道・運輸機構により新幹線ルートの中央に杭を打つ中心

企業誘致関係

北海道イーグル株式会社
工場は、移転先である富野地区で、本年三月に工事に着手し、八月末完成を目指して施工中であります。

また、新幹線関連のトンネル支保工や高架橋の基礎杭に使用する鉄筋力ゴなどを製作する事業者で、苫小牧市に本社を置く株式会社オールシーサンコーが、工事区間である新函館（仮称）と札幌の間地点である長万部町内に工場を新設したいとの意向で、町有地を希望してありますが、この度、字富野百十七番十六（通称旧苗畑）の町道南部陣屋線沿いの海側で、富野振興会館から百五十メートル付近の町有地およそ一・八ヘクタールを候補地といたしました。

なお、当該地は、埋蔵文化財包蔵地に近いため、先日、北海道教育委員会調査員立ち会いのもと、試掘調査を実施いたしました。埋蔵文化財の所在が確認されなかったため、北海道教育委員会から工

事の実施に差し支えない旨の回答を得ております。

今後、オールシーサンコーでは、工場の実施設計などが確定次第、町有地の賃貸借契約の締結や開発行為の許可などの手続きを経て、本年中には稼働したいとのことであります。

また、従業員も地元高卒者も含め、できるだけ地元採用をしたいとの意向でありますので、町としても可能な限り早期操業へ向け、支援協力をして参ります。

開港四十年・町制施行七十年記念事業関係

本記念事業では、記念パンフレットとして、「長万部町開港四十年・町制施行七十年記念オリジナルクリアファイル」を八月二十日に完成予定で発注済みであります。

そのほか、小学生を対象とした記念共催事業として、元プロ野球選手を招き、「NH

K少年野球教室」が本年八月三十一日に開催されることになっております。

戸籍のコンピュータ化

住民サービスの向上と戸籍事務の効率化・迅速化を図るため、昨年度から準備を進めておりましたコンピュータによる戸籍事務は、五月二十七日から運用を開始いたしました。

戸籍は、縦書きから横書きとなり、数字も算用数字となります。また、氏名の文字は、法務省の基準で示されている常用漢字や人名漢字に整理されました。

なお、電算化に併せ、住所表記に「の」が記載されなくなりました。

電算システムの導入により、戸籍の記載や編成から証明発行までの時間が短縮され、戸籍簿などの重要簿冊も火災等の災害に対する安全性が向上し、事務の効率化が図られることとなります。

児童福祉関係

四月一日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、保育定員六十名に対し、五十三名の入所となっております。

一時保育事業の四月の利用は、三歳未満児が十名で延べ七十八日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、一年生が五名で延べ四十二日間、保育所に併設している地域子育て支援センターの利用は、延べ九十三組百九十六人の親子の利用となっております。

また、保育所への苦情等の解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進する



ために設置しております第三者委員が任期満了となりましたので、五月一日付けで再任しております。

生活環境関係

平成二十四年度の本町のゴミ収集総量は、約二千五百六十トンで、前年度と比較して約十六トン増加となっております。

また、渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、約千七百七十三トンで、前年度と比較し十一トンほど増加いたしました。

ゴミの減量には、一人ひとりの意識と実行が欠かせないものであり、町民のみなさんにゴミの分別排出にご協力いただき、ゴミ減量化につながるよう、今後も一層の啓発に努めて参ります。

今年度もゴミ減量化の一環として、衣類の無料回収を五月十三日・十四日に、国縫・中ノ沢・大浜・双葉・静狩と町内五か所で実施し、四十六キログラムの衣類を回収することができました。

有害鳥獣駆除対策

有害鳥獣駆除対策では、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。

ヒグマ対策では、春の雪融けが遅く山里での目撃情報があり、町内の出没頻度が高いと思われる箇所には箱わなを設置しております。

また、近年個体数が急増しているエゾシカは、林業や農業への被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も渡島総合振興局環境生活課と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施して参ります。

農業関係

今回は、七月に予定されている「ふれあい広場」での回収を考えておりますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

家畜の主たる飼料作物であります牧草は、春先の低温や日照不足により生育が懸念されましたが、五月十五日現在の作況状況では、平年並みとなっております。また、サイレージ用とうもろこしは、ほ場条件が整わず、播種作業が例年より遅れている状況となっております。

牧野関係では、生産コスト



漁業関係

基幹産業である平成二十四

年度のホタテ貝養殖漁業生産量は、一万三千九百五十九トンとなり、前年度と比較し一千六百十三トンの増産で、生産額では二十三億二千九百二十八万円となり、前年度と比較し、一億三千四百七万円の増収となっております。

また、EU向け出荷は五百七十二トンが水揚げされ、網走管内の加工業者と町内の加工業者に、それぞれ出荷しております。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年三月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約九十三パーセント、変形及び欠殻貝が約三パーセント、ヘイ死等の死貝が約四パーセントとなっており、昨年度に引き続き良好な生育状況となっております。

このような調査結果となった要因は、昨年度、町単独事業で行った「ホタテ貝種苗緊急対策事業」において、多くの良質な健種苗が他管内から移入されたことが考えられます。

また、近年、全国的に不漁が続く秋サケ漁の平成二十四年度の漁獲量は三百二十七ト

林業関係

分収造林事業の豊津・豊野地区の地拵・植栽事業五・〇ヘクタールは六月四日に着工し、六月三十日の完成予定となっております。

森林整備加速化・林業再生事業は、林業専用道平里線の測量設計及び一部工事を予定しており、測量設計業務委託を五月十五日に着手し、六月十五日完了予定となっております。

緑化推進では、今年度も引き続きNPO法人長万部町緑と樹を愛する会からエゾヤマザクラの苗木百本の寄贈があり、四月二十九日に同法人主催の「植樹祭」で、町民参加のもと富野地区のヘリポート前の町有地に植樹が行われました。

商工観光関係

中小企業を取り巻く環境は、厳しい状況であり、本年度も事業経営の安定を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携し実施しております。

観光振興では、外国人観光客は、タイ・シンガポールからの来道者が回復しつつあり、道南圏の観光客は持ち直しつつありますが、春先の気温の低下が続く、道内観光客は減少傾向にあります。

昨年、重点分野雇用創造交付金事業で設置されました観光案内所を拠点に、本年度も同事業で、観光PR、特産品販売等を行い、引き続き、特産品の研究開発、販路拡大事業、インターネットによる観光情報提供等を行い、各種観光イベントにも積極的に参加し、観光客の誘致に努めて参ります。

また、本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、ゴールデンウィーク期間の合宿等も順調に推移しており、今後とも関係機関と十

労政関係

分な協議を進め、合宿誘致を実施して参ります。

新規卒者の就職状況は、非常に厳しい環境であります。状況は、就職率・進学率ともに百パーセントとなっております。

建設関係

建築事業では、町営住宅あやめ団地外壁改修工事を七月十日までの工期で施工中であります。

その他、町営住宅等の修繕工事は、計画的に実施しております。

次に、土木事業では、南栄地区の生活道路として整備予定の南十二号線を新たに町道として認定いたしたく、本定例会に関係議案を上程いたしており、町道認定後に道路改良舗装工事を実施する予定であります。

道路維持関係では、国の社会資本整備総合交付金事業で要望しておりますミニロータリー除雪車購入について、北海道から補助内示がありましたので、本定例会に補正予算を提案いたしております。

その他、町道の舗装補修と側溝補修等は、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園は四月十九日に、長万部公園は四月二十六日に、それぞれオープンし、パークゴルフやキャンプなど、町内外の多くの方に利用されております。



ガス事業

ガス本支管改良工事の住吉線工区(新開町)は八月三十日まで、長万部線工区(温泉町、高砂町)は、十月三十一日までの工期で、それぞれ施工中であります。

水道事業

上水道水管橋補修工事及び上水道配水池点検清掃補修工事は、十一月二十九日の工期で施工中であります。

教育関係

北海道立長万部高等学校制服購入補助は、新入学生の保護者三十二人から申請があり、百三十三万七千三百円を五月十日に指定された口座に振り込んでおります。

次に、長万部高等学校通学費補助は、静狩、国縫及び黒松内町等の通学者三十一人か

消防関係

今年の火災発生状況は、五月末現在、車両火災など三件となっております。

火災予防では、春の全道火災予防運動期間中に、不特定多数の者が出入りする施設への防火査察、一般住宅の防火点検や住宅用火災警報器の設置状況を調査するとともに、女性消防団員による街頭啓発も実施いたしました。今後とも、より一層の予防活動の充実を図って参ります。

また、今年も、子どもから大人まで、広く町民に防火意識の高揚と応急処置の普及を図るため、消防本部前におい



おしゃまんべ消防フェス 2013



とき 平成25年8月3日(土)
午前10時00分～11時30分
ところ 長万部町消防本部前

防災の大切さ 体験型で学ぼう

今年も体験型、消防フェス2013を開催する運びとなり、昨年同様AED体験・乗車体験・放水体験・煙体験・消火体験等のイベントを予定しています。また体験参加者には、無料で焼き鳥・焼きそば等も食べられるようご用意していますので、ご家族揃って消防署へお越しください。



※体験コーナー・食べ物コーナーは数に限りがありますので、お早めにお越し下さい。
火災や災害発生時は、中止とさせていただきます。(雨天時一部変更も有ります)

(有料広告) 医療法人社団 陵仁会

えんどう桔梗マタニティクリニック

産科・最新4D超音波・婦人科他(産前・産後の教室も充実)

院長 遠藤 力 副院長 白戸 智洋

【診療時間】 日(第2・4) 月 火 水 木 金 土

午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●
午後(14:30~18:00)	休診	●	●	手術日	●	休診

休 診 日曜(第1・3・5)・祝祭日

分婉室増築中の為(8月完成予定) ご迷惑おかけして申し訳ありません。

7月の日曜診療は、14日・28日になります。

随時福祉ハイヤーの送迎可(特別料金半額にて)。 福祉ハイヤー TEL.090-7654-5554

入院設備完備

初診の方でもPC、携帯、スマートフォンから24時間外来事前受付、分娩希望受付可。 函館市桔梗5丁目7-15 TEL(0138)47-3001

問診票ダウンロード可。予約なしの来院も可。(桔梗駅前通り中の沢小学校前)

ホームページ内のメールフォームからのご質問は24時間可。